

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

9

Vol. 4 No.9



口絵
「新治花崗岩」と新治台地に残る石造文化財 長 秋雄 249~250

テキサス州ファンズワースでの重力計測の手記 杉原光彦 251~258

茨城県出身の測量士ならびに探検家であった間宮林蔵の地理学的偉業に関する私的考察
渡辺和明・吉川秀樹・七山 太 259~266

「新治花崗岩」と新治台地に残る石造文化財 長 秋雄 267~277

- 新人紹介 白濱吉起 (活断層・火山研究部門), 小野昌彦 (地圏資源環境研究部門),
伊藤一充 (活断層・火山研究部門), 小森省吾 (地圏資源環境研究部門),
山谷祐介 (エネルギー・環境領域 再生可能エネルギー研究センター) 278~280
- GSJ 交差点 280

表紙説明

ペトロパブロフスク・カムチャツキー市街地から見渡したアバチャ湾

ペトロパブロフスク・カムチャツキーは、カムチャッカ半島最大の都市であり、アバチャ湾を介して太平洋と面している。歴史的に天然の良港として知られており、しかもロシア海軍にとって重要な不凍港の一つとされる。カムチャッカ半島は千島列島に連続して一連の島弧-海溝系を形成しており、そのため、街の近傍にも複数の活火山が存在する。また、世界有数の巨大地震多発地帯であり、特に1952年11月4日カムチャツカ地震 (Mw9.0) の発生時に、半島東岸部や千島列島は大規模な津波被害を被ったが、アバチャ湾の湾口が狭いため大惨事は免れたことでも知られている。

(写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門)

Cover Page

Abacha Bay looked over from downtown of Petropavlovsk-Kamchatsky.
(Photograph and caption by Futoshi Nanayama).